

UIUC(University of Illinois at Urbana Champaign)の講義が始まって早2ヶ月が経った。最近は特に時間の経過を早く感じ、忙しい毎日を送っている。現在、Midterm-examシーズンの真只中であり、夜遅くまで勉強している学生が増えたように思える。アメリカの学生は基本的にグループで勉強を行うことが多いようだ。季節はすっかり秋めいており非常に寒い。Illinois studentsの多くはIllinoisトレーナーを着て登校している。これは日本では見られない光景だが、アメリカの大学では普通の光景のようだ。今回の報告は主として、現在履修している講義の経過とactivitiesについて報告する。

<秋学期の履修科目>

- ・ ESL 110 : English Pronunciation for Academic Purpose
- ・ ESL 113 : English Structure & Paragraph Development
- ・ EALC 250 : Intro to Japanese Culture
- ・ HIST 172 : US History Since 1877

ESL 110

発音を中心としたクラスである。クラスメートは全員、留学生であり日本人はいないので、英語を学ぶ上では非常に都合の良い環境である。クラスでは、お互いにリサーチしてきた文章を読み合い、accentやrhythmを確かめ合うこともある。また、最近では講義中に簡単なゲームを行うのなど、楽しみながら発音を学習することができる。

ESL 113

Writingのスキルを向上させるためのクラスである。ESL110と同様に日本人は私だけであるので、クラス的环境は非常に良いものである。講義の形式は、先月分の報告書に記載した通り、基本的にディスカッションがメインである。先生から何らかのトピックが提示され、それについてチームメンバーとディスカッションを行い発表する。課題はessayやresponse paperが多く、負担の大きな科目の一つである。しかし、講義中には学生同士peer reviewを行うので、クラスメートのpaperを見て、新たなvocabularyやgrammarなどを発見できる。また、先生は非常に親切な方である。私がgrammarを学びたいと言うと、授業前に個人レッスンを行ってきており、extra assignmentを与えてくれるので、勉強や課題をする上で非常に助かっている。

EALC 250

日本の文化を学ぶクラスである。ESLとは違い本格的な授業であるので、進行スピードは非常に速い。また、最近では講義の内容がより一層深くなってきており、講義内容を聞き取ることが困難となってきている。先日、この科目のMidterm-examを受けた。受講人数が多いせいかテストは基本的にマークシート形式であったが、最後の問いはWriting形式であった。テスト時間は1時間であったが、マークシートを終える頃には残り時間は30分を過ぎていた。さらに、英語で回答することが非常に難しく、1問に費やす時間が長くなってしまい、結果的に時間切れとなった。本格的なMidterm-examは今回が初めてだったとは言え、非常に悔しい思い出となった。

先日、課題の一つであるessayを提出することができた。essayの内容は、日本の絵画やworkをキャンパス内にある美術館(Krannert Art Museum)で見学し、講義内容を含めた、自分自身の意見を書くと言うものであった。一つのessayを書くのに多くの時間を費やしてしまうのはしかたがないことではあるが、他科目の課題もあり両立することが困難である。しかし、すぐに次回のessayが控えているので、気を引き締め前回より内容の濃いものに仕上げられるよう努力する。

HIST 172

1877年以降におけるアメリカの歴史を学習するクラスである。現在は、1920年頃の人種差別による問題やアフリカ系アメリカ人の自由に対する戦いや運動を学習しており、講義中にマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの有名なスピーチの映像を見た。このクラスも最近になって内容が一層濃くなってきており、教授のスピーキングスピードは相変わらず早く、講義内容を聞き取ることに精一杯である。さらに、ディスカッションのクラスは講義と違い学生同士の話し合いがメインとなる。受講学生の多くはネイティブの学生であるため、教授以上に話しが早く、話しの切り替えがとても早いので大変である。

Conversation Partner

現在、私は3人のConversation Partnerを持っている。Conversation Partnerとは、その名の通り会話する相手のことである。IEIに在籍していた頃は、IEI側がPartnerを選び、無料で私に付けてくれた。Conversation timeは非常に楽しく、様々なことを学ぶことができるので、U of Iに移ってからでもConversation Partnerは是非欲しかった。

そのため、U of Iに移った後、自らConversation Partnerを探そうと決意した。まず、FLB(Foreign Language Building)にあるオフィスに出向き、Tutorのリストを手に入れ、何人かの教授やTAにmailを送り返事を待った。その後、一人のPhD studentの韓国人学生がPartnerを勤めてくれることになった。しかし、このTutorシステムは個人レッスンのようなものであり、ボランティアではないため、Partnerに対して授業料を支払わなければならなかった。しかし、幸いなことに韓国人学生のSo Jungは日本語を学びたいので、通常支払わなければならない授業料の代わりに日本語を私に教えてくれないかと言ってきた。非常に嬉しかった。しかし、PhD studentは忙しいようで、最近はお互いのスケジュールが合わず、なかなか会えていないのだが、うまく時間を調整して会いたいと思う。

U of Iに移ってからEngineering Hallに行くことが多くなり、何度か行くにつれEngineering HallにいるStaffの人達が私を覚えてくれ、気軽に声をかけてくれるようになったので、私にとってとても暖かい場所である。さらに、Engineering HallにいるAaronと親しくなり、英語の悩みを打ち明けると、Aaronは、私のためにConversation PartnerとしてAaronの知り合いであるStaceyを紹介してくれた。Staceyは日本で一年間の留学経験もあり、日本のことは非常に詳しい。また、私が知る限り一番日本語が上手なネイティブアメリカンである。Staceyとは週に一度、キャンパス近くのカフェで会い、英語を教えてもらっている。たまに、Staceyも日本語を使いたくなるようで、日本語で会話することもある。先日、ハロウィーン用に衣装を買いに行った。お店に行くとパーティーグッズや仮装衣装がズラリと並んでいた。店内にはU of Iの学生や一般の客が多く買いに来ており、非常に賑わっていた。少しだが、アメリカの文化を垣間見た。

三人目は、今や私にとってとても大事な友人であり、Conversation Partnerでもある。今年の夏学期にKITへ留学していたChrisである。Chrisとの出会いは、7月中頃に国際交流室からUIUCから留学生が来ているという情報をもらい、可能であれば彼がUIUCへ帰ってきた時に会いたいと返事したのが始まりである。国際交流室の計らいでChrisと会うことができた。Chrisはとても親切でユーモアでセンスがある。また、週に一度Conversation Partnerとして私に英語を教えてくれる。また、Chrisは日本語のクラスを受講しているようで、私がChrisに日本語を教えることもある。お互いがお互いの母国語に興味も持っているので、お互いの言語に対する悩みや問題を良く理解し合っているので非常に楽しい時間を共有できる。前回、Chrisが驚くことを教えてくれた。それは、ネイティブが長文などを読むとき、単語の最初と最後のletterだけを見て読んでいることだ。Chris曰くそれだけで何の単語が分かるようだ。また、現在彼はArtの方へ方向転換して頑張っている。Chrisが描いた絵は素晴らしいものだった。Chrisとはこれからも、良い交友関係を築いていきたい。

Chicago Trip & Hiking with J-HOP

先日、J-HOP のメンバーと Chicago へ一泊二日の旅に出かけた。目的は二つ、一つ目は Chicago にある Mitsuwa で日本食の買出しと、火頭山と言うラーメン屋で塩ラーメンを食べることである。Mitsuwa は日本製品を多く取り揃えたスーパーマーケットである。商品の配列や本屋の展示方法が日本とまったく同じであったので、非常に懐かしい感じがした。火頭山では、待望の塩ラーメンを食べることができ、その味に感動した。

目的の二つ目は Six Flags に行くことだ。Six Flags とは Chicago で人気のアミューズメントパークである。ハロウィーンが近いこともあって、特別にデコレートされたパーク内は異常な盛り上がりがあり非常に楽しかった。多くのローラーコースターに乗ることができて良かった。

さらに、先週末 J-HOP のメンバーと Hiking へ出かけた。天候に恵まれ、気温は少し肌寒だったが、Hiking には最適であった。大自然に囲まれた山道は空気が澄み切っており非常に気持ち良かった。自然の素晴らしさを肌で感じた一日であった。



John Hancock Center からの景色

その他

現在、私は Sherman Residence Hall に住んでいる。Sherman は Graduate Students が主に住む寮であるが、International Students も多く住んでいる。キャンパスからは徒歩で5分と非常に近いので便利である。部屋は Corner Single Shared Bath であり、2人のルームメイトと Bathroom をシェアする形だ。しかし、私が Sherman に移って来てすぐにルームメイトの一人が友達と住むことになったと言い出て行ったため、現在ルームメイトは1人である。ルームメイトは韓国人留学生で IEI の学生である。

UIUC(University of Illinois at Urbana Champaign)の講義が始まって2ヶ月が経ち、今後さらに講義の内容が一層濃くなるので、優先順位を付けながら、上手くタイムスケジュールを組み学習を行っていかうと思う。さらに、留学生活が実りの多いものなるよう、充実した毎日を送っていく。

以上